年間授業計画　新様式例

立川　　高等学校 令和８年度　　教科　芸術　科目　工芸Ⅰ

教　科：　芸術　　科　目：　工芸Ⅰ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　4 学年　A　組～　B　組

教科担当者：　（A組：　山本一博　）　（B組：山本一博　）

使用教科書：　（　工芸Ⅰ　工Ⅰ 701 日文　）

教科　芸術　　の目標：

【知識及び技能】	芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】	創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わい自ら制作することが出来る。
【学びに向かう力、人間性等】	生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目　工芸Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付ける。	創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わい自ら制作することが出来る。	生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	単元名　ペーパークラフト　正十二面体立体切り絵制作 【知識及び技能】　製図・図面作成の技法理解と知識の習得、ペーパークラフトの特性理解。 【思考力、判断力、表現力等】　強度などを考慮した効果的な模様の演出、細部分までの丁寧で緻密な作業。 【学びに向かう力、人間性等】　正しく安全な道具（主にカッター）の使い方、作品を美しく仕上げる為の組み立てる方法、ペーパークラフト作品を理解する作品鑑賞	・指導事項　ペーパークラフト　正十二面体立体切り絵制作　製図・図面　正五角形と正十二面体展開図作成、切り絵の模様制作、正十二面体立体模様切り絵の模様の切り取り、正十二面体立体模様切り絵の組み立て、補強及び修正。 ・教材　カラーケント紙、折り紙、カーボン紙、トレッシングペーパー、定規、デザインナイフ、カッターマット、糊、など	【知識・技能】　基本的な製図及びクラフト表現方法についての理解 【思考・判断・表現】　強度、空間、構図、量感などを理解し有効的な表現方法を発想及び構想を練り制作する。 【主体的に学習に取り組む態度】　課題制作の創造活動に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	24
	定期考査　無し						
2学期	単元名　木工　表札制作 【知識及び技能】　レタリング　名前を書く　明朝体・ゴシック体。 【思考力、判断力、表現力等】　デザイン　アイデアスケッチ　下図の制作、下図をカーボン紙で板に写し、彫刻刀で彫る、形の修正　研磨仕上げ　仕上げ彫り、染色とニス塗装。 【学びに向かう力、人間性等】　正しく安全な道具の使い方、作品を美しく仕上げる方法、木彫作品を理解する作品鑑賞	・指導事項　木工　表札制作　レタリング　名前を書く　明朝体・ゴシック体、デザイン　アイデアスケッチ　下図の制作、下図をカーボン紙で板に写し、彫刻刀で彫る、形の修正　研磨仕上げ　仕上げ彫り、染色とニス塗装。 ・教材　木片（桂）、彫刻刀、紙ヤスリ、グラインダー、など	【知識・技能】　基本的な木工及びレタリング表現方法についての理解 【思考・判断・表現】　空間、構図、量感などを理解し有効的な表現方法を発想及び構想を練り制作する。 【主体的に学習に取り組む態度】　課題制作の創造活動に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	26
	定期考査　無し						
3学期	単元名　年賀状用住所名前入り印鑑制作 【知識及び技能】　印鑑の特性・技法の理解と知識の習得、陽刻陰刻、白文朱文。 【思考力、判断力、表現力等】　デザイン的な美しさと、機能性を考える。 【学びに向かう力、人間性等】　正しく安全な道具の使い方、作品の特性を理解する作品鑑賞。	・指導事項　年賀状用住所名前入り印鑑制作、下書き　アイデアスケッチ　　鏡文字の制作、印鑑用のゴム版に下絵を転写、マジックで清書、彫刻刀などで余分な部分の彫り、試し刷り、修正を行い完成度を高める、手持ち部分の作成。 ・教材　ゴム版、彫刻刀、など	【知識・技能】　基本的な印鑑及び版画表現方法についての理解 【思考・判断・表現】　空間、構図、量感などを理解し有効的な表現方法を発想及び構想を練り制作する。 【主体的に学習に取り組む態度】　課題制作の創造活動に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	20
	定期考査　無し						
							合計 70